

2023 Summer
TOENEC NEWS

No.21

トーエネックニュース

トーエネックニュースは年4回(1月・4月・7月・10月)発行です。

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ
TEL 052-219-1906

ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している
以外にも当社の最新
ニュースや施工実績を
HPでご覧いただけます。

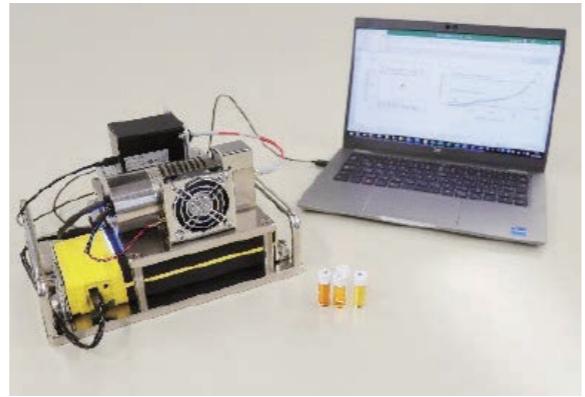


展示製品紹介 油入変圧器の現地診断装置

変圧器の劣化診断手法として、変圧器内に使用されている絶縁紙に含まれるフルフラールという成分が、絶縁紙の劣化によって絶縁油内に溶け出した量を測定する方法が用いられます。測定には時間と費用がかかります。

この装置は、フルフラールが溶け出した絶縁油に近赤外光を照射し、光の弱まり度合い(吸光度)を測定することでフルフラールの含有量を測定して劣化度合いを表示し、簡単かつ短時間で劣化診断が可能です。

お問い合わせ先 技術研究開発部 ☎ 052-619-1707



工業高校生に技術指導

当社は、愛知県で11月に開催される技能五輪全国大会へのPR活動に協力し、愛知県内の工業高校で技術指導を行いました。当社教育施設である教育センターの職員などが工業高校を訪問し、電気科の皆さんなどに実技を披露し指導を行いました。参考いただいた方からは「無駄のない動き一つひとつがとても勉強になった」などの感想が聞かれました。



女性社員の紹介動画を制作しました

当社は、設備工事(一般得意先向け工事)の施工管理に従事していることを皆さまに知っています。そのため、当社の女性社員が現場で働く様子を紹介する動画「彼女たちの現場—施工管理の女性技術者ー」を制作しました。この動画では、現場で施工管理業務にあたった女性社員の様子と、「将来の目標」「仕事の誇り」などについてインタビューをしていました。

当社は、設備工事(一般得意先向け工事)の施工管理に従事していることを皆さまに知っています。そのため、当社の女性社員が現場で働く様子を紹介する動画「彼女たちの現場—施工管理の女性技術者ー」を制作しました。この動画では、現場で施工管理業務にあたった女性社員の様子と、「将来の目標」「仕事の誇り」などについてインタビューをしていました。

当社公式チャンネル
で公開中です。



動画はこちらから

日本選手権1500mで2度目の日本一 河村一輝選手

第107回日本陸上競技選手権大会が、6月1日~4日、ヤンマースタジアム長居(大阪府)で開催され、当社陸上競技部の河村一輝選手、野口雄大選手が1500mで予選を突破し、決勝では河村選手が大会新記録となる3分38秒45でゴールし、見事優勝しました。また、野口選手は3分41秒15の6位でゴールしました。

現日本記録ホルダーの河村選手は、優勝候補の最右翼として注目を集める中でのレースでした。周囲からの大きな期待とプレッシャーを跳ね除けるような力強い走りで、大会記録を更新する好タイムで、見事2年ぶり2回目の日本一を勝ち取りました。河村選手は今回の日本選手権優勝などにより、7月にタイで開催される「アジア選手権」出場と、9月に中国で開催される「杭州アジア大会」の日本代表内定を決めました。



©AgenceSHOT

河村選手にインタビューしました

◆2021年の日本選手権以来、2年ぶりの日本一ですね

正直なところ、勝ててほっとしています。2021年のホクレンディスタンスで日本記録を出してから、ケガなどで勝てない時期が続いていましたが、今シーズンは、しっかりと練習と調整ができました。

優勝した2021年の日本選手権を振り返ると、自分自身、その時の調子の良さと勢いみたいなもので勝ったという感じでしたが、今回は、自己のポテンシャルを最大限まで引き上げて勝負に臨めたと思います。今回こそ自らの実力で勝つことができたと手ごたえを感じています。

◆今回の日本選手権について、思い通りのレース展開ができたのでしょうか

今回、当社陸上競技部の野口選手も1500mの決勝に進んでいたので、前日に野口選手と決勝のレース展開を予想しました。私たち2人は、終盤までスローペースになりそうだと予想していて、レースの早い段階からハイペースにしていきたいと考えていました。

レース当日は、予想通りスローペースで始まりました。しかし、野口選手が先頭に出ると一気にペースアップしました。私が思っていたよりペースアップのタイミングが早く、少し驚きましたが、ハイペースになったおかげで持ち前のスタミナを活かして先行逃げ切りを図ることができたと思います。

◆7月に開催される「アジア選手権」の日本代表選出、9月に開催される「アジア大会」の日本代表内定と吉報が続いています。今後の目標や展望を教えてください

「アジア選手権」出場と、「アジア大会」の日本代表内定により、来年のパリ五輪が見えてきました。まずは、2つの大会で好タイム・好成績を残して世界陸連のワールドランキング(※)を上げていきたいです。日本選手権で勝って、精神的にも好調を維持しているので、肉体面のケアをして、ベストな状態で臨めるよう調整していきます。応援、よろしくお願いします!!

※五輪出場条件:対象期間中に五輪参考標準タイム(3分33秒50)の達成、またはワールドランキング上位を維持。



災害復旧

台風2号などの影響で大雨となり、各地で浸水や土砂災害・停電などが発生しました。当社は各拠点で復旧にあたりました。

最新の施工実績を紹介します。

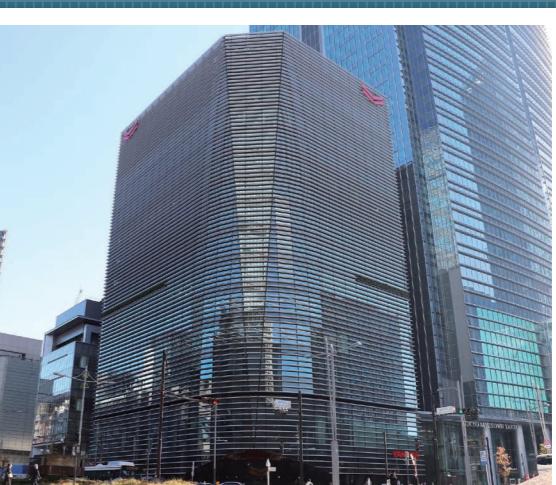
現場の足跡



活潑な梅雨前線と大型の台風2号の影響で、6月2日に太平洋側の広い範囲で大雨に見舞われました。この影響により各地で浸水や土砂災害・停電などが発生しました。当社の電力関連工事を担う配電部門では、6月2日～4日にかけて、岡崎・静岡・三重・岐阜・長野支店のエリア内で延べ約120人を動員し、復旧作業にあたりました。

一般得意先向け工事(屋内線工事・通信工事などを担う部門では、6月2日～6日にかけて、中部本部・岡崎・静岡・三重・岐阜・長野支店のエリア内で延べ約399人を動員し、復旧作業にあたりました。

YANMAR TOKYO
東京駅八重洲口正面の好立地にある「YANMAR TOKYO」の新築工事で、当社は、ビル全体の電気設備工事を施工しました。



ビル内には、ガスエンジン発電機によるコージェネレーションシステムや、高効率ガスピートポンプなどのヤンマー製品が使用されています。それらの多くは屋上に設置されており、ヤンマー製品の展示場のようになっています。

屋上での施工にあたって、将来的なメンテナンスのしやすさとともに、設置した機器(製品)の見やすさも意識してレイアウトを検討しました。屋上には庭園も設けられていましたため、屋上の限りあるスペースを有効に使えるように検討と試行錯誤を重ね、施工性と見やすさを両立させました。



IR情報

2022年度決算(2022年4月1日～2023年3月31日)

中期経営計画2022(以下、中計2022)の最終年度にあたる当期の業績は、受注高、売上高ともに過去最高水準となりました。しかしながら工事の進捗が当初の想定を下回ったことに加え、一部の工事および事業で採算性が低下したこと、太陽光発電事業に係る固定資産の減損損失等を計上したことなどにより、中計2022の数値目標(売上高2,450億円、経常利益120億円、ROE 6.5%)に対して未達となりました。

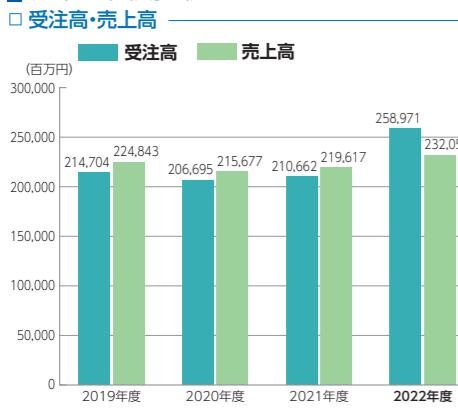


連結・個別 経営成績(単位:百万円)

	2023年3月期		2022年3月期	
	連結	個別	連結	個別
売上高	232,053(5.7%)	207,618(5.0%)	219,617(1.8%)	197,749(0.7%)
営業利益	10,287(△26.9%)	8,373(△31.4%)	14,072(△9.3%)	12,202(△8.6%)
経常利益	8,983(△32.9%)	7,412(△32.9%)	13,394(△2.4%)	11,053(△9.7%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (個別は、当期純利益)	△5,548(-%)	△6,502(-%)	8,283(△6.2%)	6,724(△7.8%)

*百万円未満切捨て *%表示は対前期増減率

連結 業績推移(単位:百万円)



踏み抜き体感設備は、工場屋根上での作業中に天窓を踏み抜き落とした災害を再現したもので。これまでの踏み抜き体感設備について、受講者は、沈降板の上に両足を載せて立ち、指導員がスイッチを押すと沈降板が急に沈み、床などを踏み抜いたような体験をするものでした。

今回、同設備に導入したVRシステムについて、受講者は専用のゴーグルを着用して沈降板の上に両足を載せて立ちます。ゴーグル内には屋根上の疑似映像が映し出されます。疑似映像は受講者の動きに合わせて360度景色が変わります。受講者は疑似映像による仮想空間内を歩き回り(実際は足踏み)、天窓を踏み抜き被災したタイミングで沈降板が自動で沈みます。

ゴーグルを着用して周囲の視覚情報を遮断した上で疑似映像を見ることで没入感が高まり、受講者は、屋根上で墜落したような感覚になります(体感の度合いには個人差があります)。

VRシステムを導入した踏み抜き体感設備は2023年4月から運用を開始しています。



▲ゴーグル内に流れる疑似映像(イメージ)

疑似映像の中で天窓を踏み抜き被災するのと同時に自動で沈降板が沈みます。

社外の方向けの教育も実施しています。

TEL:052-619-2082 FAX:052-619-2083 E-mail:scc-support@toenec.co.jp

トピックス

「安全創造館」の教育にVR導入

当社の安全教育施設である安全創造館は、作業の中に潜む危険に対する感受性を高めることを目指し、実際に現場で起つた作業災害の疑似体験による危険体験教育を行っています。今回、より実際の作業災害をイメージできるよう「VRシステム※」を導入しました。

※実際にその空間にいるような感覚を得られる仮想技術



「安全創造館」の教育にVR導入

「踏み抜き体感設備」に

踏み抜き体感設備は、工場屋根上での作業中に天窓を踏み抜き落とした災害を再現したもので。これまでの踏み抜き体感設備について、受講者は、沈降板の上に両足を載せて立ち、指導員がスイッチを押すと沈降板が急に沈み、床などを踏み抜いたような体験をするものでした。

今回、同設備に導入したVRシステムについて、受講者は専用のゴーグルを着用して沈降板の上に両足を載せて立ちます。ゴーグル内には屋根上の疑似映像が映し出されます。疑似映像は受講者の動きに合わせて360度景色が変わります。受講者は疑似映像による仮想空間内を歩き回り(実際は足踏み)、天窓を踏み抜き被災したタイミングで沈降板が自動で沈みます。

ゴーグルを着用して周囲の視覚情報を遮断した上で疑似映像を見ることで没入感が高まり、受講者は、屋根上で墜落したような感覚になります(体感の度合いには個人差があります)。

VRシステムを導入した踏み抜き体感設備は2023年4月から運用を開始しています。

社外の方向けの教育も実施しています。

TEL:052-619-2082 FAX:052-619-2083 E-mail:scc-support@toenec.co.jp

施工概要

- 工事場所 東京都中央区八重洲2丁目1番1号
- 工期 2020年2月1日～2022年8月20日(主工事)